

企画意図

この作品は、日常生活の中に潜むさまざまな人権問題を取り上げています。ドラマで人々の心にある偏見を、そしてドキュメンタリーで差別や偏見などで苦しむ人々の心の痛みを伝えます。人権について、さまざまな角度から考えることができる作品です。

内容

日常の人権Ⅰ

女性の人権

- ドラマ編 自分の無自覚な態度や言葉が、妻や会社の女性たちを傷つけていることに気づいていない会社員の姿を描く。
- ドキュメンタリー編 ドメスティックバイオレンスの被害者の心の痛みなど、女性たちの声を通して、なぜ女性差別が生まれるのか、男性優位の考え方を見直していく。

子どもの人権

- ドラマ編 親が子どもを守るのは当たりまえ。だが、そんな母親と心が離れていく子どもたち。子どもの人権に無自覚な親に気づきはあるのか。
- ドキュメンタリー編 親のどんな態度や言葉で傷つくか、子どもの言葉から子どもの権利と人権について考えていく。子ども虐待についても触れる。

高齢者の人権

- ドラマ編 認知症が始まった母親の介護をしている女性は、介護に疲れ果て、気持ちのゆとりを失っている。
- ドキュメンタリー編 高齢者は、回りの人々に対しどんなことを望んでいるか、社会の中で孤立感を深める高齢者の心のうちを伝える。また介護の現場で増え続ける高齢者虐待にも触れる。

日常の人権Ⅱ

外国人の人権

- ドラマ編 外国人に道を聞かれても無視する若者。入居者の外国人を批判する大家など、多くの日本人が持つ外国人への苦手意識を描く。
- ドキュメンタリー編 日本に住む外国人たちが、この国での孤立感や差別意識など日ごろの体験を語る。

障がい者の人権

- ドラマ編 同じ職場にいる知的障がい者の仕事ぶりに苛立つ若者や、会社の面接に来た人が障がい者であることに悩む会社員。彼等は自らの偏見に気づいていない。
- ドキュメンタリー編 障がいをもった人々の生の声を通し、障がいのある方にとっての働く意味を考えていく。

部落差別

- ドラマ編 妹が結婚することになった夫の傍らで、妻は問いかける。「相手のこと、よくわかって結婚するのかしら・・・」
- ドキュメンタリー編 部落出身者を誹謗中傷するはがきを受け取った方がその恐怖を語る。未だに終わらない部落差別の現状を考えていく。

インターネットでの人権侵害

- ドラマ編 インターネット上のさまざまな人権侵害。そこには犯罪を犯した未成年者の顔写真や、個人情報載っている。
- ドキュメンタリー編 増え続けるインターネットでの人権侵害について、街頭インタビュー。また、企業ではプライバシー保護マーク、通称Pマークの重要性について語る。